

2020年6月30日

各位

株式会社 サンドラッグ
代表取締役社長 貞方 宏司

当社取締役会の実効性の評価結果の概要について

当社においては、取締役会全体の機能向上を図ることを目的とし、毎年度、「取締役会の実効性に関する評価アンケート」を実施し、その結果に基づき、取締役会にて、意見交換を実施し、更なる改善に取り組んでおります。

今般、年度評価が完了いたしましたので、以下にその概要をお知らせいたします。

1. 評価の方法

社外を含む全ての取締役及び監査役に対し、記名式にて、事務局作成の「取締役会の実効性に関するアンケート」に基づき、自己評価とともに、記載自由欄を設け課題提案する方法にて、実施いたしました。

その回答集計結果に基づき、取締役会の課題認識の共有化及び実効性・機能性の向上への今後の取り組み対応について意見交換・審議を行い、評価いたしました。

2. 取締役会の実効性に関する分析・評価結果の概要

当社取締役会は、自由闊達な議論が行われ、規模・頻度・時間等はほぼ適切で、以前課題であった資料様式等については一定の改善が図られました。また、取締役会の構成メンバーの多様性の確保も一定進展し、全体として、実効性はおおむね確保できていると分析・評価いたしました。

しかしながら、今後の課題としての、(1) デジタル・ITインフラ投資、M&A、多様性人材確保並びにESG・サステナビリティなどを含む中長期的経営戦略についての議論の更なる深耕、(2) 資料の更なる簡素化と事前説明の工夫、(3) 社外役員の運営現場視察など、改善余地もあり、実効性の一層の向上に向けた工夫・検討を推進する必要があるとの認識をいたしました。

3. 今後の対応

当社といたしましては、事前資料の一層の充実や早期提供及び事前説明の工夫・改善、社外役員への運営現場の視察同行説明会等の推進、社外役員の見識を取締役に活かす更なる努力、並びに多様性を確保した役員、更には最高経営責任者等後継者の発掘・育成への取り組みをはじめ業界の未来を見据えての中長期的企業価値向上に資する経営課題と戦略に関する議論の更なる深耕や今回の実効性評価・提言を通じて得られた課題を踏まえ、引き続き、取締役会の更なる実効性の向上及び活性化への改善に取り組んでまいります。